

北海道パイロット事業 【取組課題 検討中】

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

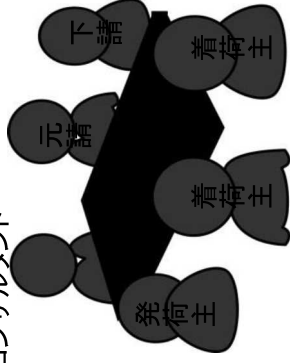
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

<参加集団>

- 発荷主(水産物関係)
- 元請運送事業者
- 下請運送事業者
- 兼 荷扱い事業者
- 着荷主(水産物関係)

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

<課題>

- ①運行計画の難しさから拘束時間が長時間化している
- ②複数の配送先があるため拘束時間が長時間化している
- ③市場での待ち時間の発生が拘束時間に影響を及ぼしている
- ④施設が狭いために施設内で荷卸し作業ができず、労力と時間を要している
- ⑤水揚げや生産の時間から輸送までの時間的な余裕がない
- ⑥輸送計画・輸送需要が天候に左右される

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

<実験>

検討中

- ・待ち時間の短縮を図る。
- 市場での荷受作業時に作成する荷札発行時間を短縮できないか、方策を検討。

実験結果検証

← 7～12月

2月頃

3月

青森県パイロット事業

【荷積み時間の前倒しや配送先別整理による拘束時間の削減】

- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

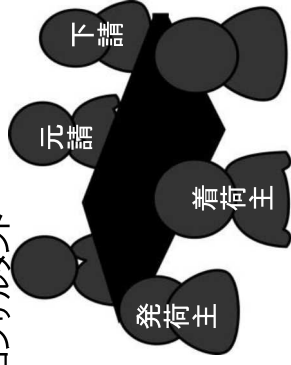
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

＜参加集団＞

- 発荷主（農業関係）A
- 元請運送事業者ア
- 下請運送事業者イ
- 着荷主（青果卸会社）a

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

- 一 運行前－
○ 荷積み時間に時間を要する荷積み場所があり、長い時は早朝から昼ぐらいまでかかる

- 一 運行中－
○ 配送先（着荷主）の数が多い

- 一 配送先－
○ 市場に着いてからの待ち時間が長く、また荷卸しが終わっても検品の順番待ちに30～40分要することがあり、また、検品には1時間程度を要する。

【その他】

- ※ 青果品に特化した課題
- 荷物の丁寧な扱い（荷崩れに配慮）が必要であり、荷積みには人員・時間を要している

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

朝積み時間の前倒し

- ・ 朝6時から荷積みを開始し、市場への到着時刻を早める

配送先別の荷積み
区分け、整理

- ・ 一部の集荷先においては、配送先個々に仕分けられない場合（積荷）がある
- ・ どこに保管されているのか、集荷先担当者へ確認が必要などときがある

一 運行の荷受け先削減

実験結果検証

8～10月



11月

29/1月以降



岩手県パイロット事業

【運行依頼の前倒し・出勤時間見直しによる拘束時間の削減】

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

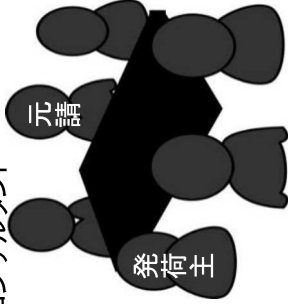
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

＜参加集団＞

- 発荷主(合板メーカー)A
- 運送事業者3者

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。
＜課題＞

【発荷主】

○ 通常は、運行前日までには伝票を運送事業者へ渡しているが、配送先の決定は当日の朝になることが多い

○ 積込みの人数(フォークリフト作業員)は2人で行っている
→ フォークリフト作業員が増員できれば荷積み時間の短縮が図れる

【運送事業者】

一 運行前－

○ 発注依頼が遅く、配送先が当日決定されるため、運行計画が立てにくい

○ 荷積みまでの待ち時間の発生

一 配送先－

○ 配送先に着いてからの待ち時間が長いことが多い

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。
＜実験＞

運行依頼の前倒し

・ 荷主側で発注依頼が前倒しできそうな運行について検討し、運送事業者への運行依頼を1日程度前倒しする

出勤時間の後倒し

・ 出勤時間を30分以上後倒しにする
→ 荷主側で製品準備・伝票を運行時間までに整え、待ち時間の発生を防ぐ

実験結果検証

8～10月

11月

29/1月以降

宮城県パイロット事業

【運行途中での休息を自宅休息へ切り替え】

- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

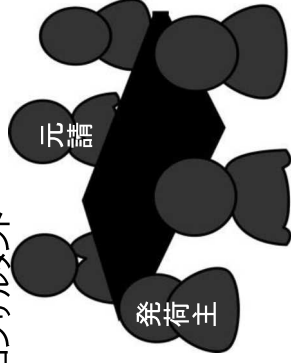
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

＜参加集団＞

- 発荷主（軽工業品）A
- 運送事業者ア

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

改善基準告示については荷主、運送事業者間の長年の積み重ねにより遵守されているが、一部の運行において、運行途中での休息（自宅以外）が見られた

このことから、好事例として今までの取り組みについて詳細を確認するとともに、自宅以外での休息期間については、運転者の住所地での休息期間が、それ以外の場所での休息期間より長くなるよう努めることと定められていることから、この運行に着目し改善基準告示のさらなる遵守について取り組むこととした

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

運行時間の見直し

- ・自宅以外での休息を、一旦帰庫することにより自宅での休息に切り替え、安全衛生面での運転者の負担について検証を行う

実験結果検証

8～12月

29/1～2月

2月以降

秋田県パイロット事業 【受付後の手待ち時間短縮による拘束時間の削減】

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

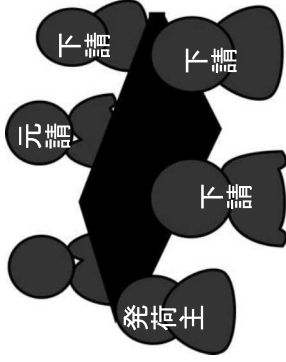
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

＜参加集団＞

- 発荷主(製紙メーカー)
A
- 元請運送事業者A
- 下請運送事業者イ

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

○手待ち時間関係

- ・元請運送事業者では、受付順に車両を割り当てており、実運送事業者は早い時間に出発できるようオーダーが確定する前に受付を行うため、受付後の手待ち時間が長くなっている

- ・トレーラへの積み込みの際、複数バースを占拠するため、スペースが手狭となり他のトラックへの積み込みに手待ち時間が発生している

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

検討中

- ・実証実験を行うためのデータ等を発荷主に提供し、実験内容について照会中

- 手待ち時間の削減
出荷先別に、発荷主工場入門から積み込み作業開始までの待ち時間を調査。削減の余地を検討。

- フェリーの時間変更
輸送で使うフェリーの荷物積み込み時間を調整することで、全体の作業時間を短縮できないか。

実験結果検証

8～29/1月



1～2月

2月以降

山形県パイロット事業

【運転者の作業時間短縮による拘束時間の削減】

- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

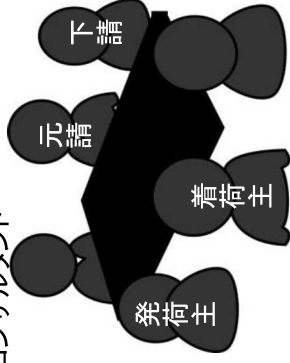
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

＜参加集団＞

- 発荷主（農業関係）A
- 元請運送事業者A
- 下請運送事業者イ
- 着荷主（仲卸会社）a

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

○ 集荷時間の遅さ

- ・18、19時以降に集荷にいかなければならない場合がある

○ 集荷・配荷が複数箇所ある場合の待ち時間の増加

- ・集荷・配荷場所が複数ある場合は、それぞれで待ち時間が発生し、拘束時間が長期化しやすい

○ 市場の荷受け方法の煩雑さ

- ・仲卸ごとに荷受け方法が異なる
- ・駐車スペースが確保できないと待機時間が長くなってしまいう場がある

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

検討中

- ・ 積込時間の短縮

発地ストックポイントを使用している場合と使用していない場合の積込み時間の検証（集約拠点を設け、複数箇所を集荷したものをそこにおろす作業と、その集約拠点から市場まで輸送する作業を分離する）

- ・ 積込み時間削減

パレット化が困難なリングについて、使用した場合とバラ積みの場合の効果検証中

実験結果検証

8～29/1月

1～2月

2月以降

予冷倉庫活用による拘束時間の削減

福島県

実施集団

➤ 発荷主 A (生産者団体) 、運送事業者ア(元請)・イ(実運送) 、着荷主 a・b (青果卸売業)、荷種：農産品(トマト)

課題

- ✓ 当日の出荷数量がわからないため、選果完了時間がわからず、結果適正な配車（大きさや台数）ができず非効率。
- ✓ 一台の車で複数の集荷場で積み込むもの、各集荷場の情報共有が無くそれぞれで積み込みの時間がかり出発時間が遅れる。

予冷施設の活用

天候等による出荷量の変化に作業員の確保や選果ラインの増加等対応が困難であったことから、出発予定時間に間に合わなかった青果品（トマト）を予冷設備にて予冷し翌日出荷

＜改善結果＞ 発地(発荷主側)での待ち時間の削減

a社向けトラック	実施前	実施後	短縮効果
拘束時間(推定)	14時間34分	11時間45分	△2時間49分
b社向けトラック	実施前	実施後	短縮効果
拘束時間(推定)	12時間13分	10時間18分	△1時間55分

- ※ 運送事業者イ（実運送）の営業所出発時間から業務完了時間までを拘束時間（推定）として対比
- ※ 事前に荷量が把握でき、それに応じて出荷作業を計画的に実施できるため、出荷作業におけるドライバーの待ち時間を大幅に削減

拘束時間（推定）

各々約2～3時間短縮

※実現するための課題：予冷設備の設置・運用にかかる費用及び設備までの横持ち費用の負担

茨城県パイロット事業 【 重量物の荷積み作業等にかかる影響の検討 】

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

現状分析

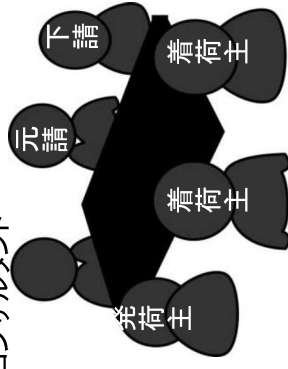
実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

＜参加集団＞

- 発荷主(コンクリートポータル・パイル製造工業)A
- 運送事業者A

※今回、下請運送事業者や着荷主は対象としない

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

- 手待ち時間関係

・荷主工場内積み込み作業においての「入場時間」→「積込開始時間」→「積込終了時間」がデジタル式タコグラフでは把握出来ていない。

実験結果検証

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

- 協力会社(他の元請運送事業者含む7社)による実態調査

・ドライバーが「入場時間」「積込開始時間」「最終積込終了時間」等の項目について工場側(荷主側)の屋外作業員や検査員と時間確認し調査票に記入。

- ・調査票を集計し調査結果をまとめ改善策を検討。

発荷主の荷積み風景



栃木県パイロット事業【入荷バースの柔軟的割り当てによる手待ち時間の短縮】

- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

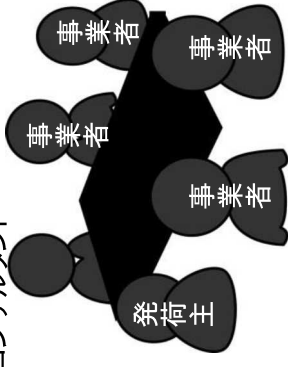
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

＜参加集団＞

- 発荷主
- スナックフード・サービス(株)
- 運送事業者
- 高野総合運輸(株)
- (有)仲野運輸
- (株)星川産業
- (株)アケティチャレンジ

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

- ① 宇都宮センターへの入荷便の慢性的な手待ち時間が発生している。
- ② 菓子問屋配送で手待ち・荷役時間が長くなっている。
- ③ 取得した勤務データにおいて拘束時間超えが発生している。

＜解決手段＞

- ・物流センター、外部ストックポイントの集約を行う。
- ・比較的稼働率の低いバースを入荷用に解放する。
- ・親会社と菓子問屋の間で協議を行う。
- ・可能な便に関してパレット輸送を行う。

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

- 入荷バースの柔軟的割り当てによる手待ち時間の短縮
- ・宇都宮センターの共同配送入荷専用5バースを市内工場・倉庫からの横持ち入荷用にも開放する。
- ・通常バース（出荷用）の一部を入荷用にも開放する。
- ・入荷業務のダイヤグラムオペレーション化。

実験結果検証

← 8～12月 → 1月頃 2月以降

群馬県パイロット事業

【着荷主とのパートナーシップ構築による待機時間、附帯作業時間の削減】

- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

＜参加集団＞

- 発荷主（JA）
- 実運送事業者（元請）

○ 発荷主での積み込み作業においては、発荷主と実運送事業者が継続的な改善を実施してきたおり、待機時間、附帯作業に係る拘束時間については、問題となっていない（好事例として整理する）。

○ 着荷主（市場、小売店）における待機、附帯作業に係る拘束時間に改善すべき重要な問題があるものの、特定の着荷主が集団に参加していない状況である。

課題の洗い出し

＜物流現場の課題＞

- 市場における待機時間
 - ・ 保冷庫のない市場では、荷卸し時間が指定されており、常時待機時間が発生している。
- 附帯作業の拘束時間
 - ・ 大口の小売店に対しては直送するが、小売店指定のラックへの貨物の取下手を指示されるため、通常よりも1時間以上作業時間が延びることがある。

＜体制の課題＞

- 着荷主とのパートナーシップ
 - ・ パートナーシップの構築がされていないため、着荷主に対して具体的な改善提案をづらい状況にある。複数の荷主に働きかけ、関係構築にあたって障壁になっている点を検討する。

本年度の取組事項

本年度は着荷主とパートナーシップを構築することを主たる事業とする。なお、期間内に取組可能な改善活動があれば適宜実施する。

＜物流の課題改善への取組＞

- 着荷主に対するヒアリングの実施
 - ・ 発荷主が農家からの出荷情報を収集し、それを活用する。

＜体制の課題改善への取組＞

- 着荷主とのパートナーシップの構築
 - ・ 着荷主と本集団で改善に向けた定期的な会議を持ち、改善活動を実施。
 - ・ パートナーシップ構築における関係者間の相互理解を深めるためのエッセンスを抽出し整理する。

実験結果検証

9～10月

11～2月頃

3月以降

埼玉県パイロット事業【荷物の回収等の作業工程の見直し及び改善による拘束時間の削減（調整中）】

- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

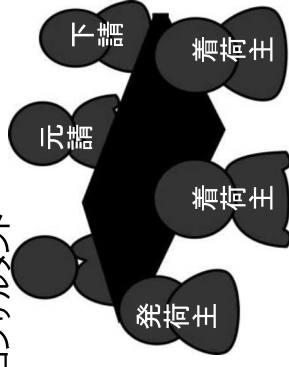
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

＜参加集団＞

- 自動車関連企業（発・着荷主）
- 運送会社（1社）

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

- 現在、現状について分析中

※自動車関連企業の本社工場（埼玉県）と部品センター（群馬県）間を1日2往復している便について、搬入等の作業時間を含む拘束時間の削減及び運送の効率化について検討を行う予定となっている。

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

- 現在解決策について検討中
- ※ 2月末頃開始予定

実験結果検証

← 12～1月 → 2月頃 3月以降

千葉県パイロット事業

【荷主と運送事業者の重複業務の見直し】

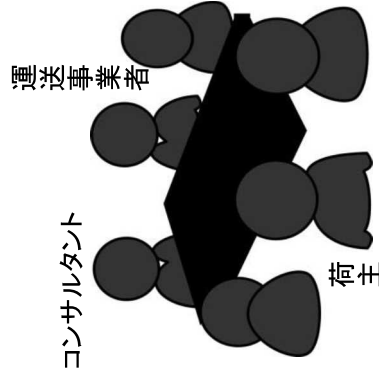
- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

＜参加集団＞

- 荷主（食品メーカー）
- 運送事業者



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

【物流の効率性からの観点】
台車から板パレットへの積み替え

以前は工場側からローラーコンベアで移動させていたが、現在はローラーコンベアをほとんど使用せず台車上に商品をピッキングする。これを運送事業者の積み込みスタッフがベース側に台車を移動させコース別に板パレットに積み込む。台車から板パレットへの積み替えが発生。

→重複作業による効率の悪化

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

現状及び実証実験における作業時間を比較・検証する。

【現状】
（荷主）
ピッキングした荷物は台車に集品
（運送事業者）
集品された商品は、板パレットに移し替え、再度検品作業を行う。

【実証実験】
（荷主）
板パレットに集品し、検品作業を併せて行う。
（運送事業者）
板パレットに集品された荷物の総個数の検品のみ行う。

実験結果検証

9～11月

2月上旬

2月以降

東京都パイロット事業【調整中】

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

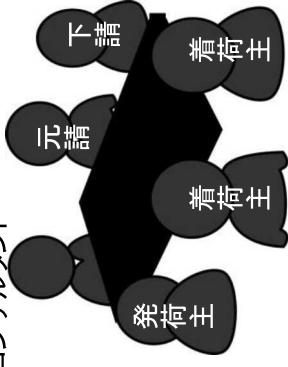
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

＜参加集団＞

- ・発荷主(家庭紙製造業)A
- ・元請運送事業者ア
- ・下請運送事業者イ
- ・下請運送事業者ウ
- ・着荷主(卸売業)a

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

- 手待ち時間関係
 - ・ 発地側工場内で複数箇所の積み込みがあり、積み込み場所毎に待機時間が発生
 - ・ 積み込み場所での長距離トラックと地場配送トラックの混在
 - ・ 発地側の外部倉庫での積み込み時に、事前に指示のない複数箇所での積み込み作業が発生
 - ・ 着地側倉庫での受付時間順による入構のため、必要以上の早めの受付及び作業開始までの待機時間が発生

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

- ・ 事業者及び着地側における待機時間短縮を軸に調整中。

実験結果検証

← 10～11月

2月頃

3月中旬以降

神奈川県パイロット事業

【積みみ作業時間短縮による拘束時間の削減】

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

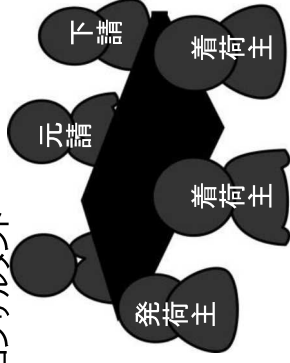
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

<参加集団>

- 発荷主(建設関係)A
- 元請運送事業者A
- 下請運送事業者イ
- 着荷主(建設関係)a

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

<課題>

- 手待ち時間関係
 - ・積みみ時に時間がかかり、順番待ちが生じている
 - ・荷下ろし時に、早めに事業者が来ているため、待機時間が生じている。

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

<実験>

- 検討中
 - 積みみ作業時の手待ち時間の削減の可否を検討

実験結果検証

← 7～10月 → 1～2月頃 2月以降

山梨県パイロット事業

【荷待ち時間短縮等による拘束時間の削減】

- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

現状分析

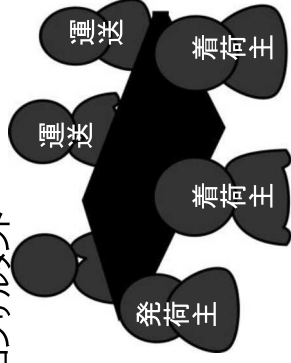
コンサルタントと対象集団による第1回検討会を10月に実施。

また、流通センターへの現地確認を実施したうえで当該集団における運送取引の実態を把握。

＜参加集団＞

- 発荷主（食品メーカー）
- 運送事業者
- 着荷主（流通センター）

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、コンサルタントによる課題の洗い出しをもとに、第2回検討会にて課題の解決方法を検討。

＜課題＞

- 荷待ち時間関係
 - ・ 流通センター到着後、受付開始時間前にトラックが集中し、搬出作業の順番待ちにより多大な荷待ち時間が発生。

➢ 荷役作業関係

- ・ 発荷主側では積載効率を重視したパレット積みを行う一方、流通センター側ではサイズ的に収容不可能なため、手下ろしを強いられている状況。

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

- 荷待ち時間の縮減
 - ・ 流通センターで試験運用中の「受付予約システム」を活用し、予約した時間帯に搬出を行うことにより、荷待ち時間の短縮を図る。
- 荷役作業のパレット化
 - ・ 統一したパレット積みを実施し、流通センターでの手下ろしをパレット下ろしへ変更することにより、荷下ろし時間の短縮を図る。

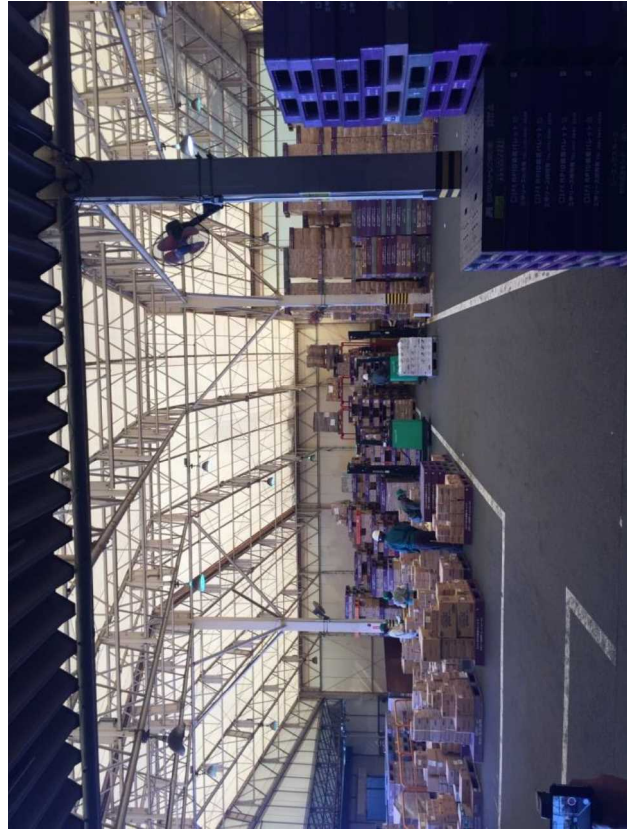
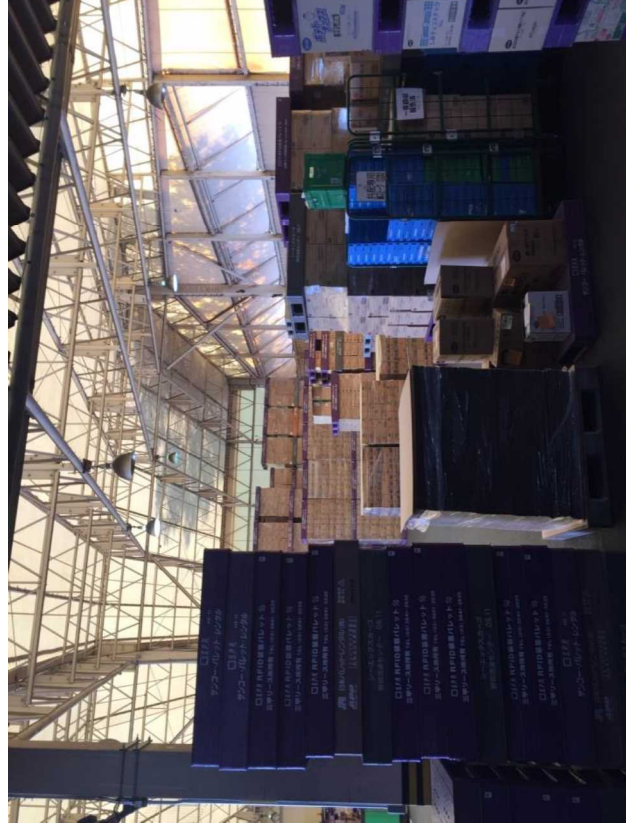
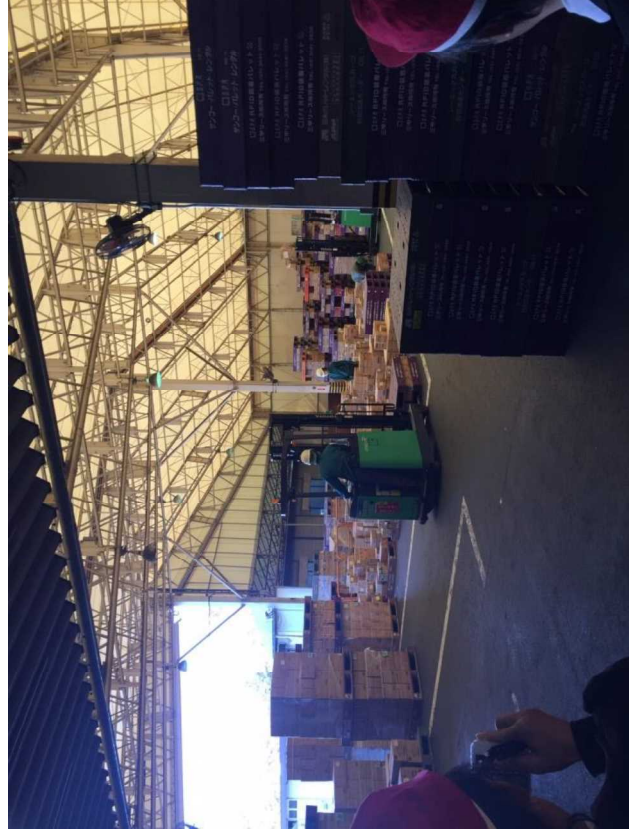
実験結果検証

← 10～11月 →

1月頃

2月以降

着荷主（流通センター）の手下ろし作業場【山梨県協議会】



新潟県パイロット事業

【荷待ち時間短縮による拘束時間の削減】

- パイロット事業(実証実験)は、知識を有するコンサルの助言・提案のもと、新潟県地方協議会によりトラック輸送状況実態調査結果や地域の実情踏まえ選定された対象集団(発荷主:岩塚製菓株式会社 運送会社:魚沼運輸株式会社)が、トラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである
- 以下のように①荷主及び運送事業者の現状の把握、長時間労働の原因や抑制の阻害要因等の分析 ②課題に対する改善策の検討 ③解決手段の実証 ④検証等を行う。
- 実施内容は平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

①現状分析

対象集団自己チェックリストにより現在の労働環境の把握。現場確認によるコンサルによる分析。対象集団と、コンサルタントが連携し、運送取引の実態を把握。(事業場の訪問を複数回実施)

着地(スルーセンター)でのドライバースの状況調査分析

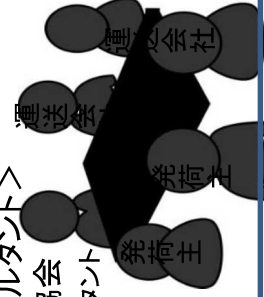
＜対象集団＞

- ・発荷主:岩塚製菓(株)
- ・運送事業者:魚沼運輸(株)

＜コンサルタント＞

- ・ベック協会

コンサルタント



②課題解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞ 手待ち時間関係

予定積込み開始終了時刻に対して遅れる場合がある。

予定ピッキング開始終了時刻に対して遅れる場合がある

人によりピッキング作業時間(効率)にばらつきがある(標準作業時間より長くなる場合がある)

- ・積込み待ちの解消
- ・積込み完了遅れの解消

＜原因の明確化作業＞

▶トラック1台分1人作業化の実施→ピッキングを1人1台作業とすることで、問題見える化し、有効な対策を講じていく

(見えてきた原因)

・運搬距離が長い(ピッキング場所が広域にまたがる)

・ピッキング場所(作業場所の空き状況)

・賞味期限の混在

③解決手段の実証

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

手待ち時間関係

- ▶ピッキング作業の改善
(中間ストアの活用)
- ▶倉庫内、ロケーション変更
- ▶トレース(バーコード)システムの導入
- ▶トラックの付け方変更検討

④結果検証

1～2月頃

← 11～12月

→

2月以降

長野県パイロット事業

【荷待ち時間短縮による拘束時間の削減】

- パイロット事業（実証実験）は、知識を有するコンサルの助言・提案のもと、長野県地方協議会によりトラック輸送状況実態調査結果や地域の実情踏まえ選定された対象集団が、トラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。
- 以下のように①荷主及び運送事業者の現状の把握、長時間労働の原因や抑制の阻害要因等の分析 ②課題に対する改善策の検討 ③解決手段の実証 ④検証等を行う。
- 実施内容は平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

①現状分析

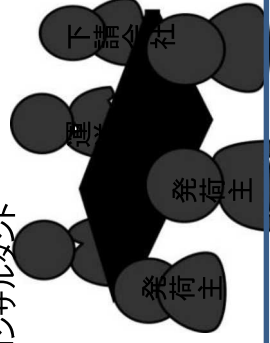
対象集団自己チェックリストにより現在の労働環境の把握。コンサルによる分析。

対象集団と、コンサルタントが連携し、運送取引の実態を把握。（事業場の訪問を複数回実施）

＜対象集団＞

- 発荷主（マルコメ（株））
- 運送事業者（長野通運（株））
- 下請運送会社（東信運送（株））
- ＜コンサルタント＞
- ・パック協会

コンサルタント



②課題の洗い出し

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定

＜課題＞

- ＞拘束時間関係
- ・早朝便、横持ちドライバーの目標時間を大きくオーバーしている。
- ・積み込み時間が時間ごとの出荷便にはばらつきがある。出荷便が多い時間には積み込み位置が遠くなることでリフト運搬距離が長くなり積み込み作業時間が長くなる
- ・積み込み作業はトラックに直接積み込みとなっており、運転手の待ち時間が長くなっている。
- ・荷卸し（ディストリビューションセンターDC）の順番に対応できていない

改善策の検討

設定した課題に対する解決策を決定する

＜実験内容＞

- ＞夜間生産製品の積み込み、トラック移動について変更
- ＞時間帯ごとの出荷便数の平準化、同時に積み込み作業を行うトラック便数を減らし、積み込み作業のリフト運搬距離を削減
- ＞一時仮置きに製品の準備をしておき積み込み時間の短縮を図る。
- ＞店舗別にピッキングを行うことによりDCのほしい順に到着し荷卸し

③実証実験

④結果検証

11～1月

1～2月頃

2月以降

富山県パイロット事業 【拘束時間の削減】

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

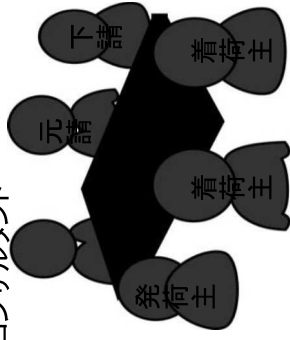
①現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、チェックリストや現場状況を元に当該集団における運送取引の実態を把握。

＜参加集団＞

発荷主 中越パルプ工業(株)
元請運送事業者 中越ロジスティクス
下請運送事業者 港運輸(株)
着荷主 中越パッケージ(株)
ほか 関東エリア

コンサルタント



②課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

- ・出荷場所において作業が集中した場合に待ち時間が発生。
- ・実際の運転の仕方、休憩の取り方はドライバー任せになっている部分が多い。
- ・積み込み(倉庫)が原則2カ所、まれに3, 4カ所となる場合がある。

＜解決手段＞

荷待ち時間の短縮

- ・荷役ホームの改修
- ・バースの接車スペースの拡張

ドライバーの時間管理

- ・運行経路、休憩場所等をあらかじめ指示することで拘束時間等に影響確認

積み込み場所の集約化※

- ・横持ちと出荷の輸送に分割し、積み込み作業時間等を短縮

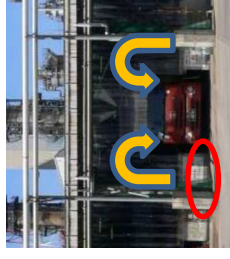
(※中長期的な課題)

③実証実験

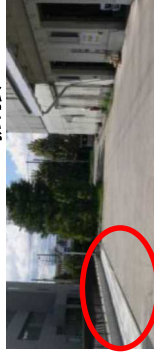
設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

- 荷役ホームの改修
両側から荷役できるようにホームを拡張



- バーススペースの拡張



- ドライバーの時間管理
ドライバーに任せた場合との管理する場合との違いを検証

④実験結果検証

8～ 9月

～2 月頃

月以降

石川県パイロット事業

【荷役・荷待ち時間短縮による拘束時間の削減】

- パイロット事業（実証実験）は、知識を有するコンサルの助言・提案のもと、石川県地方協議会によりトラック輸送状況実態調査結果や地域の実情踏まえ選定された対象集団（発荷主：コマニー株式会社 運送会社：上田運輸株式会社）が、トラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。
- 以下のように①荷主及び運送事業者の現状の把握、長時間労働の原因や抑制の阻害要因等の分析 ②課題に対する改善策の検討 ③解決手段の実証 ④検証等を行う。
- 実施内容は平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

①現状分析

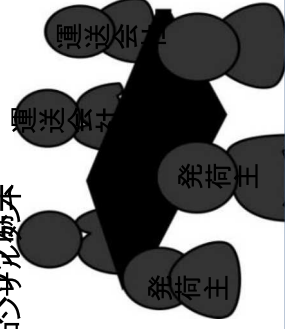
対象集団自己チェックリストにより現在の労働環境の把握。コンサルによる分析。

対象集団と、コンサルタントが連携し、運送取引の実態を把握。（事業場の訪問を複数回実施）

＜対象集団＞

- ・発荷主：コマニー(株)
- ・運送事業者：上田運輸(株)
- ＜コンサルタント＞

△協賛協弁



②課題解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

- 荷役作業関係
出荷製品の集荷・荷造り・積載方法の検討
- 手待ち関係
出荷日に合わせた生産体制の構築の検討

③解決手段の実証

設定した課題に対する解決策を実証する。

ロケーション変更し。効果をだす。

＜実験＞

- 入庫時間のコントロール
- 出荷時間に合わせた製品造りの取組（出荷前日までの完成品準備率の向上）
- （ピッキング数の調査、回数を減らすための検討）
- （荷主側、梱包作業側、運送事業者側での出荷体制情報共有の共有化）

④結果検証

11～1月

1～2月頃

2月以降

静岡県パイロット事業①

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

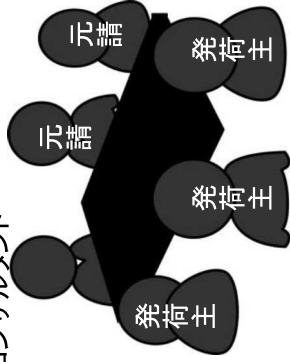
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

＜参加集団＞

- 発荷主 製造業
- 元請運送事業者 運輸A
- 下請運送事業者 運輸B、運輸C

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

【課題】

- ・出荷作業時の手待ち時間の発生。
積込場所ではほぼ毎日発生している。
- ・出荷場所(積込場所)での積込み完了の遅れの発生。当日荷当日締めによる追加、キャンセル対応のため積込み完了に遅れが出る。
- ・発荷主の要求する輸送時間が短い。
- ・発荷主からの出荷指示が遅く、計画的配車ができない。ほぼ毎日積込み当日の連絡。
- ・積込み作業の運用における乗務員への労働負荷。積込みバースの不足、積込車両までの導線が長い等。
- ・外部倉庫と場内の出荷優先順位が連動しておらず、積込みを優先したい車両に待ち時間が発生。

実証実験

【ファーストステップ】

現状の出荷オーダーをもとに、出荷の順番を輸送条件等をベースに計画化。現在休息が不十分な運行について積込みの順番調整を行う。

【セカンドステップ】

- 今後検討していくもの。
 - ・在庫の適正配置。
 - ・取引条件等の見直し。(取引先との取引条件、配達の指定時間、輸送時間等)
 - ・パレット化の推進。(空パレットの保管・回収や、作業分担、費用等)

実験結果検証

← 6～12月

1～2月

2月末頃

静岡県パイロット事業②

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

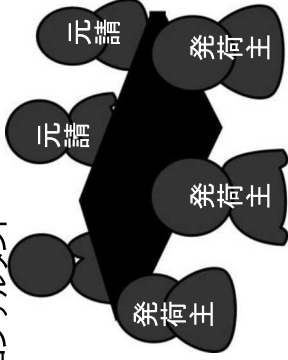
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

＜参加集団＞

- 発荷主
冷凍食品製造業の物流子会社
- 元請物流事業者
運輸A
- 下請運送事業者
運輸B

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の実施

【運送の流れ】

中部の拠点→関東→関東の複数の冷凍施設を巡回集荷→中部の拠点

【課題】

・複数箇所の巡回集荷がドライバーの長時間労働の原因となっている。

【改善の実施】

・発荷主、運輸Bと輸送システムの見直しを要請。関東での巡回集荷を発荷主、運輸Aで行い、物流センターから中部拠点の輸送のみの担当へ変更。

ドライバーの労働時間の短縮に繋がった。

改善の経緯を検証

・運輸Bの働きかけにより労働時間の短縮ができた事例のため、発荷主、元請への交渉、改善の実施の経緯について詳細を検証する。

・今回の発荷主以外にも、冷凍食品や水産加工品を出荷する荷主企業との取引が複数あるため、この輸送の効率化についても検討する。

6～12月

1～2月

愛知県パイロット事業

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかにになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することによって、トラック業界全体の長時間労働是正につながる。

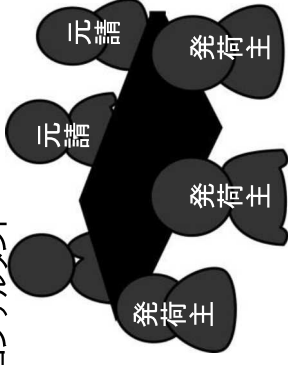
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

<参加集団>

- 発荷主
中部セキスハイム工業
- 運送事業者
豊橋センコー運輸

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

事業場訪問(1回目:11/11、2回目:1/27)、現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

【業務のながれ(工場出荷後)】

出庫 → 待機場到着・作業 → 現場搬入・据付開始 → 帰着 → 翌日分積荷

<課題>

- 手待ち時間関係
 - ・ 現場指揮のもと順番に据え付けるため、職人の数や段取りにより、待ち時間が発生
- 荷役作業関係
 - ・ 待機場で積替えが必要
- 拘束時間関係
 - ・ ユニット数の大きな物件は地場輸送でも16H超過が発生
 - ・ 帰りの最終便は、空のラックや資材関係を積み込むため、据付完了まで現場を離れられない

実証実験

設定した課題の「計画以上の拘束時間が発生した要因」に着目し、真の課題を明らかにする。

<実験>

- 【運転(出庫～待機場)】
 - ・ 交通集中／事故渋滞
 - ・ 天候不順
 - ・ 入場規制
- 【運転(横持ち～現場搬入)】
 - ・ 進入路変更／進入難
 - ・ 進入時間規制
 - ・ 長距離の横持ち
 - ・ 單車不足
- 【荷役作業(現場)】
 - ・ 電気工事待ち
 - ・ 据付け待ち
 - ・ 現場管理(休憩)
 - ・ 直送部材の搬入遅れ
- 【運転(待機場～帰庫)】
 - ・ 交通集中／事故渋滞
 - ・ 天候不順

実験結果検証

← 10～11月

12～1月

2月末頃

岐阜県パイロット事業【出荷遅れの際、情報伝達により待機時間から休憩時間への変更へ】

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

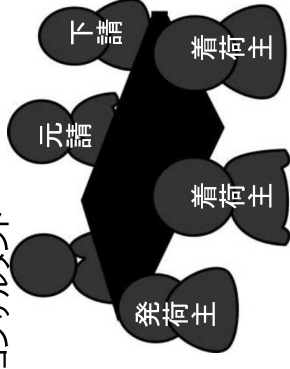
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

＜参加集団＞

- 発荷主 (株)パローホルデザイングス
- 元請運送事業者 中部興産(株)
- 下請運送事業者 秋田運輸(株)
- 着荷主 (株)パロー

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

- ・チェックリストによる課題の洗い出し
- ・課題に基づく事業場への状況確認
- ・確認結果に基づく解決手段の検討
- ・参加集団による解決手段の可否の判断と合意形成

○特に月末や年末に、物流センターで入荷の遅れがあると、全体の作業に遅れが発生し、ドライバーの手待ち時間が発生している。

○作業導線に非効率な箇所がある。
(物流センターの設計上の問題も含めて検討が必要であり、直ちに改善することとは困難)

実証実験

- ・対処可能と思われる解決手段についてトライアルを実施。
- ・タイミングは月末及び年末繁忙期。

【内容】

○入荷遅れの情報をドライバーにも情報共有し、ドライバーが状況もわからず待機するのではなく、休憩などができるよう、調整。

○現在、ドライバーにアンケートを実施しており、その結果も踏まえて検証する。

実験結果検証

← 10～11月 → 11～1月頃 2月末頃 →

三重県パイロット事業

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかにになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

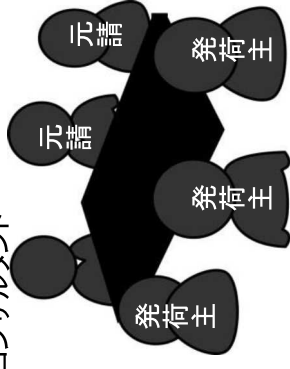
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

＜参加集団＞

- 発荷主
(株)おやつカンパニー
- 運送事業者
(有)青山商店荷役

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

○課題

・集荷先が最大6箇所あり非効率となっている。

・積載率重視で、トラックへの貨物の積み付けがバラ積みで行われていることから、荷物の積み込み、荷下ろしに時間がかかっていることが判明。

・長距離幹線便の拘束時間の長時間化が判明。

○解決手段の検討

・3倉庫、1工場の在庫を建設中の新物流センターに集約を図る。

・ばら積み貨物のパレット化による実証実験について検討。

・長距離幹線便における高速道路の適正区間使用による運行計画の変更。

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

○11月24日に第2回の検討会議が開催され、課題と改善策が提示され実験内容を決定。

1. ばら積み貨物の作業補助要員を1人配置し、荷役時間の短縮効果と増加経費について検証を行う。

2. 長距離幹線便における拘束時間等の適正化を図るため、高速道路の使用区間や運行計画を見直し効果検証を行う。(実証実験期間)

1月16日(月)～1月20日(金)
の5日間で実施

実験結果検証

← 8～11月

12月～2月頃

2月～3月頃

福井県パイロット事業

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

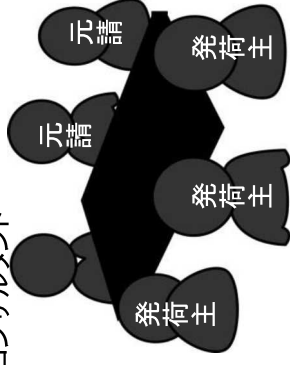
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

＜参加集団＞

- 発荷主
サカイオーベックス(株)
- 運送事業者
(株)ミツノ、福井貨物自動車(株)

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

○課題

ヒアリング、チェックリストによる課題の抽出作業の結果、反物であるロールを梱包する作業に時間がかかっていることが判明

○解決手段の検討

反物であるロールを保管する場所が手狭であることから作業に時間がかかっていることもあって、近隣にあるトラック事業者の倉庫に反物及び梱包機を移して作業を行うことを検討。

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

○11月25日第二回検討会にて実験内容について提示

○実証実験

1月16日から1月20日において
実証実験を実施中

実験結果検証

← 8～11月 → 12～1月 → 1月末頃

滋賀県パイロット事業【着荷主における取卸し時の待機時間の削減】

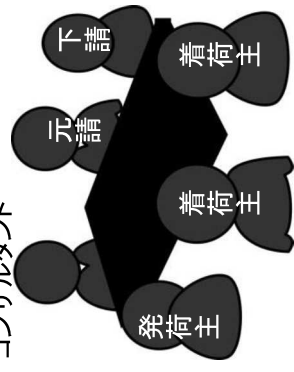
- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

- ＜参加集団＞
- 発荷主（日用品メーカー）
 - サンスター（株）
 - 元請運送事業者 名鉄運輸（株）
 - 下請運送事業者 ジャパンロジコム（株）
 - 着荷主（卸売業者）（株）あらた

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

- ＜課題＞
- 取卸し時における待機時間
 - ・ 受付順に、指定バースにて取卸しするため、待機時間が繁忙期以外にも発生
 - ・ フォークリフトの台数が限定されているため、待機時間がさらに長時間化
 - ・ 取卸し後の検収作業にも時間を要し、取卸し後の拘束時間が長い

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

- ＜実験＞
- 取卸し時における待機時間の削減
 - ・ 入門時間管理を実施
 - ・ 検収作業を踏まえた伝票の受渡しを後日に実施
 - 業務改善指標の設定
 - ・ 平均待機時間（KPI）の共有化等、業務改善効果の見える化、集団内での目標と進捗状況の共有化等

実験結果検証

← 平成28年9月～平成29年1月 →

平成29年2月以降

平成29年3月

京都府パイロット事業

【荷揃えの優先順位を変更することにより手待ち時間を解消】

- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

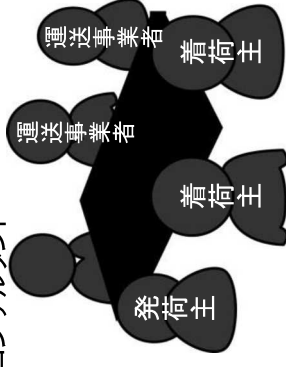
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

＜参加集団＞

- 発荷主（製造業）
小松シヤリング㈱
- 運送事業者
松川運送㈱
- 着荷主（製造業）
ニチユ三菱フォークリフト㈱

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

- 手待ち時間の発生
 - ・ 発荷主側の集荷に行った時点で荷揃いが終わっておらず、手待ち時間が発生する

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

- 荷揃えの優先順位を変更
 - ・ 発荷主において、荷揃えを製造ロット順から輸送車両順にし、ジャストインタイムで荷積み出来るようにして手待ち時間を解消させる。

実験結果検証

← 9～11月 → 9～2月頃 2月以降

大阪府パイロット事業【 降ろし作業時の検品作業方法の改善 】

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

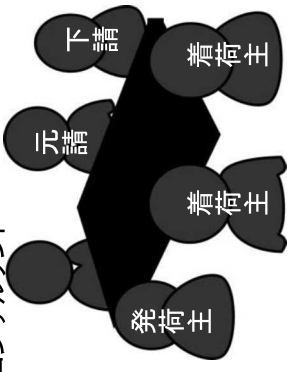
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

<参加集団>

- 発荷主
(株)日本アクセス
- 運送事業者
(株)ハップ
(有)千流
- 着荷主
(株)アカシヤ

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

<課題>

- 拘束時間関係
 - ・繁忙期は、運送事業者で定めている一日の拘束時間（12時間）を超えることもあるが、納品時間を考慮した配車とコース設定をしているため、大きな問題は無い。
- 荷役作業関係
 - ・品揃えは庫内の作業員が行い、車両への積み込みはドライバーが行っているが、大きな問題は無い。
- 手待ち時間関係
 - ・納品時間が決められているため、手待ち時間はほとんど無いが、検品のための待ち時間が発生している。

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

<実験>

- 拘束時間、荷役作業関係
 - ・大きな問題は無いため、ここに至った取り組み事例を提供していただく。
- 手待ち時間の縮減
 - ・各店舗での検品のための待ち時間の削減やカテゴリー別商品の降ろし作業が5分、10分の削減となる。
 - 着荷主に荷物の受け取りをされている従業員の意見等を確認していただき、報告を求めているところ。
 - その内容によって、実験内容を検討する。

実験結果検証

兵庫県パイロット事業 【課題の洗い出し中】

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

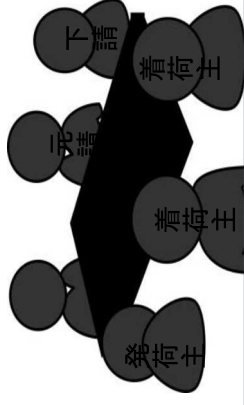
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

<参加集団>

- 発荷主(機械金属製造業)
- 神戸製鋼所高砂製作所
- 元請運送事業者
- 神鋼物流株式会社
- 下請運送事業者
- 三輪貨物自動車(株)・(株)日笠運送
- 着荷主(製造業者)(調整中)

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

<課題>

2月2日に第2回検討会を実施。検討会に向け、課題抽出及び解決手段について検討中。

現時点で判明している課題は以下のとおり。

- ・雨天時の積み込み作業において、作業エリアが狭隘でありシート掛けに時間を要する。
- ・出荷工場自体が、積み込み作業用に設計されておらず、複数台の同時作業ができず待機時間が発生する。等

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

<実験>

2月2日の第2回検討会において、課題や解決手段が決定される。その内容により実験内容が確定する。

実験結果検証

← 10～1月

2月予定

2～3月以降

奈良県パイロット事業 【（未定）】

- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

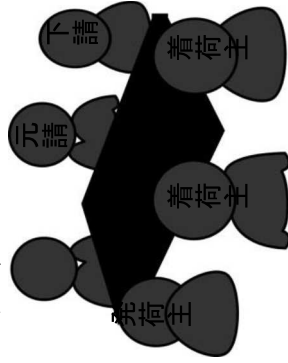
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

<参加集団>

- 発荷主（機器部品製造メーカー）A
- 元請運送事業者A
- 下請運送事業者イ
- 着荷主（計測機器製造メーカー）a

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

<課題>

- 2月中に開催予定の第2回検討会に向け、課題の抽出に向けた作業中。

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

<実験>

- 2月中に開催予定の第2回検討会において、決定する課題に対し、実証実験をおこなう予定のため、未着手

実験結果検証

← 10～1月 → 2～3月頃 → 3月以降

和歌山県パイロット事業

【橋梁（部品）の設計変更による24時間運行を可能とした拘束時間の削減】

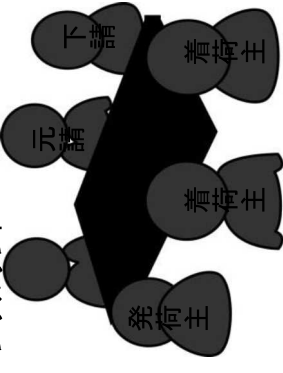
- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

<参加集団>

- 発荷主（建材メーカー）
高田機工（株）和歌山工場
- 運送事業者
（株）西日本建設物流
- 着荷主（建材メーカー）
高田機工（株）工事本部



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

<課題>

- 拘束時間関係
 - ・ 特殊車両通行許可が必要とされる輸送であり、運行可能時間が21時～6時と限定されるものもあるため、拘束時間が長くなる傾向がある
 - ・ 一般道を利用する運行計画が組まれることが多く、2泊3日の運行となっている

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

<実験>

- 橋梁（部品）の設計変更
 - ・ 運送事業者からの意見を聴き、荷主側物流部門と設計部門とが連携することで、荷姿を24時間運行可能なスペックへ改善
- 運行時間の削減
 - ・ 現在の一般道利用から、高速道路利用を増加
 - ・ 2泊3日運行から1泊2日運行に改善

実験結果検証

8～9月

1月頃

2月以降

岡山県パイロット事業【入門時間管理、ピッキング等の効率化による積込み時の待機時間を削減】

- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

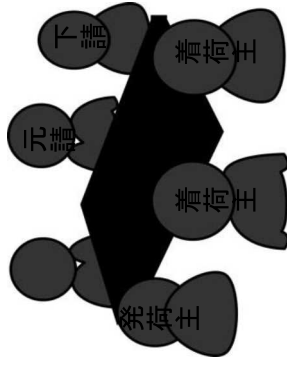
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

<参加集団>

- 発荷主（飲料メーカー）A
- 元請運送事業者A
- 下請運送事業者イ

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

<課題>

- 積込み時における待機時間
 - ・ 早朝6時台の待機時間が長い（受付開始時間開始後、1時間以内）
 - ・ ピッキングに時間を要する時間帯における待機時間が長い
- 積込みに係る拘束時間
 - ・ 複数の積込み場所を巡回するため、積込み時の拘束時間が長時間化する傾向にある
 - ・ 積込み時にピッキングにより積荷が準備できない場合、拘束時間が長時間化する

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

<実験>

- 積込み時における待機時間
 - ・ 入門時間管理により、「早期受付車両を優先する積込み実施」の原則を見直し
 - ・ スペースを確保し、ピッキング効率の向上等
- 積込みに係る拘束時間
 - ・ ピッキング効率の向上に向けた改善方策の実施等
- 業務改善指標の設定
 - ・ KPI設定による業務改善効果の見える化、集団内での目標と進捗状況の共有化等

実験結果検証

8～10月

10/1～10/31

2/1以降

○各活動の結果、全体で平均約7分の構内滞留時間が削減

	改善効果	取組方策
特約店出荷 (当日午前)	▲10分	①台数削減、入門時間調整、積込エリア集約により改善
特約店先積出荷 (当日午後)	▲7分	①工程改善により従来より約30分積込開始を早期化 ②一方、先積台数増加による作業要員配置不足などが原因で待機が従来より15分の増加 ※約半数のトラックが①②に影響
社内転送	▲4分	①積込エリア集約により改善
全体平均	▲7分	

広島県パイロット事業【タイトル 調整中】

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

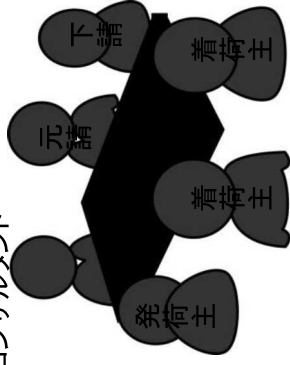
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

<参加集団>

- 発荷主(自動車メーカー)
- 元請運送事業者
- 下請運送事業者 3者
- 着荷主(自動車メーカー)

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

<課題>

- 課題抽出のための荷主関係者等からのヒアリングを実施中

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

<実験>

検討中

実験結果検証

← 9～10月 → 1月～2月頃 → 2月以降

山口県パイロット事業【在庫の適正化やオペレーションの改善による拘束時間の削減】

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

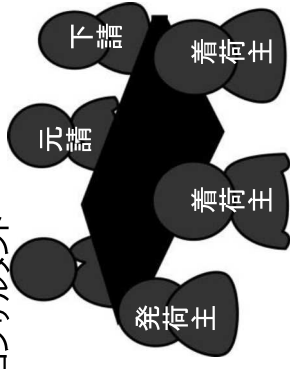
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

<参加集団>

- 発荷主(製造業) A
- 元請運送事業者 B
- 下請運送事業者 C
- 着荷主(倉庫業) D

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

<課題>

- 待ち時間関係
 - ・ 発荷主での荷揃いが遅く、構内での待ち時間が発生している。
- 荷役作業関係
 - ・ 貨物の形状が多様であるため、トラックへの積みつけに時間がかかる。
- 拘束時間関係
 - ・ 法令遵守のために高速道路を利用する必要があるものの、運送事業者の持ち出しとなっている。

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

<実験>

- 在庫の適正化
 - ・ 年内に設備の定期修理があるため、その時点で在庫を調整、在庫の適正化を図る。
- オペレーションの改善
 - ・ 出荷アイテムとその他アイテムの置き場の分離、運送会社への積み込み予定時間の事前連絡の検討などのメニューの中から、在庫の様子を見ながら取り組みを再検討する。

実験結果検証

【パレット積み貨物の荷役風景】



倉庫に横積みで保管されている製品は、1本ずつラムフォークリフトでトラック荷台に横積みで積みつけていく。

一方、製品によっては、パレット積みで保管されているものもあり、これはパレットのままフォークリフトで荷台の高さまで上げた後、ドライバークレーンが斜めに転がしながら荷台奥へと移動させていく。

鳥取県パイロット事業【乳製品の運送に係る作業等時間短縮による拘束時間の削減等】

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

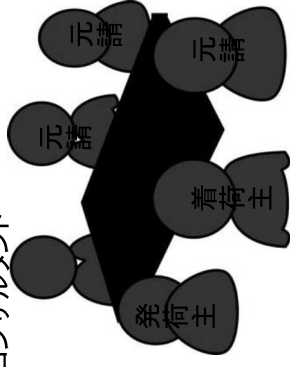
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せ、事業場訪問実施。)

<参加集団>

- 発・着荷主(乳製品製造メーカー)A(a)
- 元請運送事業者ア、イ、ウ

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

<課題>

- 拘束時間関係
 - ・ コストの関係で長距離輸送への高速道路利用が通常では認められていない。
 - ・ 荷下ろしの時間が分割されているため休憩時間が取れない。
- 荷役作業関係
 - ・ パレット化、荷役機械化による作業負荷の軽減。
 - ・ パレット単位による受注

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

<実験>

- 検討中
 - ・ 販売輸送について、高速道路利用による高速時間短縮の検討
 - ・ 一部長時間化している運行について、分割休息導入の検討
 - ・ 肥料の引取りに関して、パレット化の検討

実験結果検証

島根県パイロット事業

【積みみ作業の効率化等による拘束時間の削減】

- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

<参加集団>

- 発荷主：ホシザキ(株)島根工場
- 元請運送事業者：日本通運(株)出雲支店木次営業所
- 着荷主：
 - ①日通トランスポート(株)岡山支店
 - ②北四国運輸倉庫(株)倉庫支店

課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

<課題>

- 受注業務について
- 配車結果の情報共有とトラック到着時間のスケジュールについて
- 積みみ作業について
- 工場の設備について
- 工場の出荷情報について
- 工場の製品の荷姿について
- 荷主と運送業者のパートナーシップの強化について

上記を検証した結果、以下の課題が見られた。

- ・荷積みスペース不足による荷積み時間に時間がかかる。(倉庫)
- ・貨物の形状が様々なため、荷積み時間に時間がかかる。等

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

<実験>

- コンサルタント及び参加集団で実験内容を検討中
 - ・形状、大きさの異なる非常に多くの製品をトラックに積載する作業となっているため、当作業の効率化について検討
 - ・当日生産・出荷する製品の生産進捗に関する情報の提供を運送事業者への提供を検討。

実験結果検証

← 7～1月

2月頃

3月以降

→

香川県パイロット事業

【荷役作業の改善による手待ち時間の短縮】

- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

現状分析

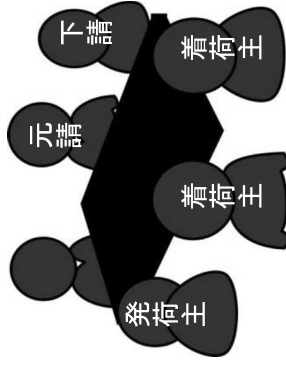
実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

荷種 冷凍食品

＜参加集団＞

- 発荷主（製造業）
- 元請運送事業者（運輸A）
- 下請運送事業者（運輸B）
- 着荷主（運輸A）

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

- 荷役作業時間
 - ・冷凍食品の荷役作業は手作業で行うことから、附帯作業時間が長時間化する傾向にある。
- 待機時間関係
 - ・検査・検品が遅延した場合に待機時間が発生する傾向にある。

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験予定内容＞

- 荷役作業時間の短縮化
 - ・荷台にローラーを設置し、荷役作業を効率化させ、5%前後の作業時間の短縮化に取り組む。
- 待機時間の削減
 - ・検査・検品に伴う遅延発生情報の情報を迅速に伝達し、待機時間が発生しない仕組みを構築。

実験結果検証

← 11～12月 →

1～2月頃

3月以降

愛媛県パイロット事業 【 事業内容非公開 】

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

現状分析

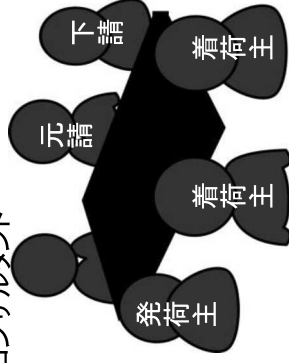
実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

荷種 柑橘類

＜参加集団＞

- 発荷主(農協)
- 元請運送事業者(運輸A)
- 下請運送事業者(運輸B)
- 下請運送事業者(運輸C)
- 着荷主(青果市場)

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

参加集団にチェックリストの配布及び事業場訪問による課題の洗い出しを実施。
課題内容については非公開。

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

実証実験内容を検討中であるが、検討内容については非公開。

実験結果検証

← 7～11月 →

11～1月

2月以降

高知県パイロット事業

【積み及び荷降ろし作業改善による拘束時間の短縮】

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

現状分析

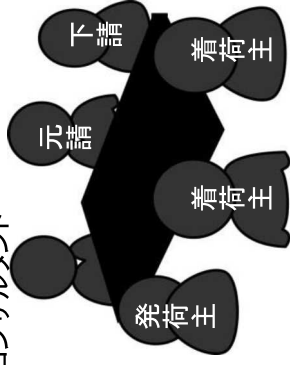
実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

荷種 菓子

＜参加集団＞

- 発荷主(製造業)
- 元請運送事業者(運輸A)
- 下請運送事業者(運輸B)
- 着荷主(卸売業)

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

- 荷役作業関係
 - ・ 手荷役での積み及び荷降ろし作業のため時間がかかっている。(パレットの利用無し)

➢ 検品作業関係

- ・ 多品種少量の発注により積込み及び荷降ろし作業における検品作業が複雑で時間がかかっている。

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験予定内容＞

- 荷役作業時間の短縮化
 - ・ パレットを利用して、パレット単位に荷物を集約、荷物は、積み時にビニールで固縛して車両荷室の下段に積み込みを実施、少量荷物はパレットの上段に積み込みを実施することで、積み及び荷降ろしの作業時間の短縮を図る。

➢ 発注量の平準化

- ・ 多品種少量の発注が毎日されており、積み及び荷降ろし作業時の検品作業に時間がかかっているため、パレット単位になるように発注方式を見直し作業の効率化を図る。

実験結果検証

← 11～12月 → 1～2月頃 →

2月以降

徳島県パイロット事業

【運行時間変更による拘束時間の短縮】

- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

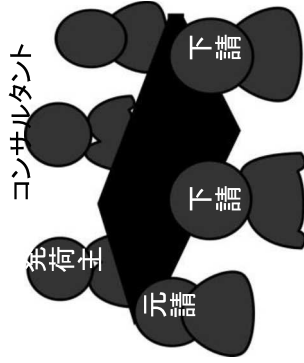
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

荷種 印刷用紙

＜参加集団＞

- 発荷主（製造業）
- 元請運送事業者（運輸A）
- 下請運送事業者（運輸B）
- 下請運送事業者（運輸C）
- 着荷主（運輸A）



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

参加集団にチェックリストの配布及び事業場訪問による課題の洗い出しを実施。

○ 手待ち時間関係

- ・印刷用紙を取り扱うため雨天時の荷役場所が限られる。このため雨天時には手待ち時間が発生。

- ・着地倉庫における待ち時間が長いという特徴がみられる。

○ 拘束時間関係

- ・改善基準告示の範囲内での運行計画を作成し、同告示の順守を実現している。

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

○ 運行時間の変更

- ・出発時間を遅らせることによる拘束時間短縮

実験結果検証

← 7～11月 → 11～12月頃 → 12月以降

福岡県パイロット事業

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

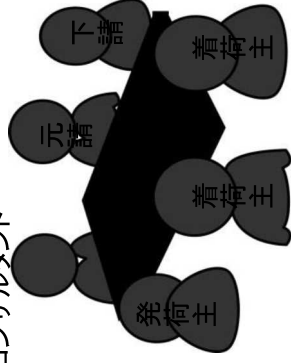
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

＜参加集団＞

- 発荷主(物流会社)A
- 元請運送事業者
(株)チクホー
(有)北野運輸
- 着荷主(物流会社)A

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

- ①着荷主側における手待ち時間、順番取りや荷役時間が労働時間を延ばしている。
- ②発荷主作成の運行スケジュールで動いているが、道路状況やアクシデントがあると、計画通りに運行できず拘束時間に影響が出る場合がある。

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

- ②複数個所集荷を1個所積みみができるように、横持ちを実施。
発荷主において、拠点での在庫を調整。

実験結果検証

← 10～11月 →

1月

2月以降

佐賀県パイロット事業

- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

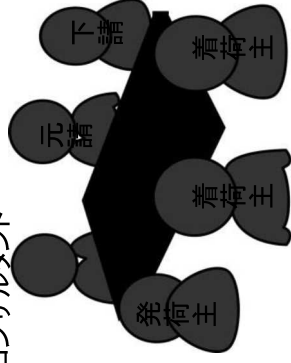
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

＜参加集団＞

- 発荷主（加工食品製造）A
- 元請運送事業者B

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

- ①パレット崩しの手荷役で作業負荷が大きく、時間もかかり、運転手不足の要因となっている
- ②複数個所集荷・複数個所下ろしにより、荷役時間や運転時間が増大し、拘束時間に影響を与えている。
- ③着荷主での荷下ろしが集中するため、早い到着をめざす傾向がある。

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

- ②1人あたりの拘束時間の短縮化を目標に、運転手を2人体制として、集荷専門と、長距離運行専門に担当を分担し乗務。運転手それぞれの日報から、拘束時間の変化を計測する。
具体的な実施方法を検討中。

実験結果検証

← 10～11月 →

1月

2月以降

長崎県パイロット事業

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

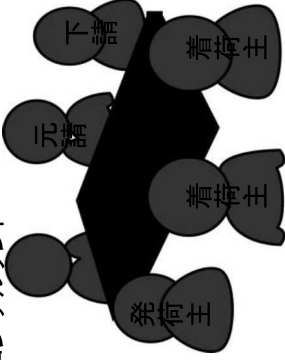
現狀分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

△参加集団△

- 発荷主(食品製造)
(株)フランチア
- 元請運送事業者
日通長崎運輸(株)
- 着荷主(食品製造)
エーケーエム(株)

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

△ 題 庫 ▽

- ① 荷役と幹線輸送を同一のスタッフが行っているため1人あたりの労働時間が長くなるケースがある。
- ② 九州自動車道の結節点が鳥栖であるため、柳川ICまでの一般道走行が長く、運転時間が長くなる傾向がある。

実験実証

設定した課題に対する解決策を
実証する。

実験

- ①1人あたりの拘束時間を短縮化を目標に、荷役作業担当(A)と幹線輸送担当(B)を分離する。

実験結果検証

10~11月

15

2月以降

熊本県パイロット事業

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

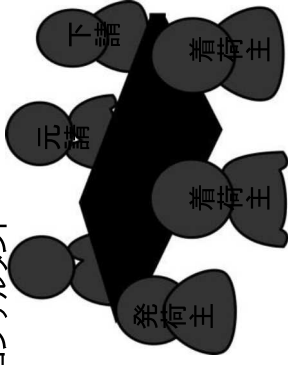
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

＜参加集団＞

- 発荷主(農産物)
熊本県経済農業協同組合連合会
- 元請運送事業者
熊本交通運輸(株)
(有)国際急送
宇城農産輸送(株)

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

- ①トラック到着から積み込み開始までの手待ちが長い
 - ・納品市場ごとの商品が全てそろわないと積み込み開始できないため。
- ②構内作業員がいるにもかかわらず、ドライバー自らが構内作業に関わり拘束時間となっている。
 - ・多品目多点多おろしのため、ドライバーが積み込み状況を把握していないと納品時に混乱するため。

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

左記課題を含む現状分析と課題のレポートを作成。一部運送事業者の回答調査票の確認中。その後、第2回検討会議を行い、実証実験内容と時期を確定させる予定。

実験結果検証

大分県パイロット事業

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

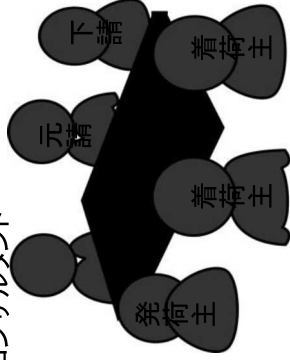
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

＜参加集団＞

- 発荷主(鶏卵)
- 農事組合法人 協和
- 元請運送事業者
- 豊後通運(株)

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

陸路の長時間運行における拘束時間の縮減。フェリーを活用した運行と高速道を活用した場合との比較、モーダルシフト活用。

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

左記課題を含む現状分析と課題のレポートを作成。対象集団にて確認の予定。
その後に第2回検討会議を行い、実証実験内容と時期を確定させる予定。

実験結果検証

← 11月

2月(見込)

3月以降

宮崎県パイロット事業

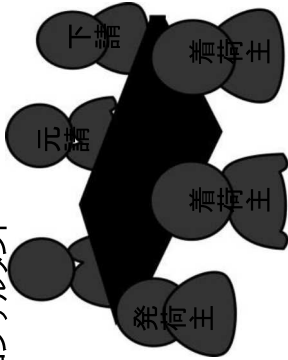
- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

- ＜参加集団＞
- 発荷主（農産物）
 - 宮崎県経済農業協同組合連合会
 - 元請運送事業者
 - (株)JA物流みやざき
 - 下請運送事業者
 - (有)宮崎配送センター
 - 着荷主（東京青果市場内卸）A
（大阪青果市場内卸）B

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

- 手待ち時間関係
 - ・ 出荷先別の分荷・加工作業が終わらないと出荷できないため手待ちが発生
- 荷役作業関係
 - ・ 分荷の確定に時間がかかり、配車連絡がギリギリになる
 - ・ 集出荷センターでの積み込み開始時刻からフェリー乗船までの時間までのリードタイムがない
- 拘束時間関係
 - ・ 複数の集荷先を巡回するため、ドライバーの拘束時間が長引く

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

- ・ 出荷日を現状から1日遅らせ、集荷日の翌日とすることにより、製品の品質面等にあたえる影響・課題を調査
- ・ 農家から集荷した当日（1日目）は、集出荷センター内の予冷库に保管し翌日出荷とすることで、4日目出荷の実証事業を行う。
- ・ リードタイムが1日伸びることによる品質の劣化について検証する。

実験結果検証

鹿児島県パイロット事業

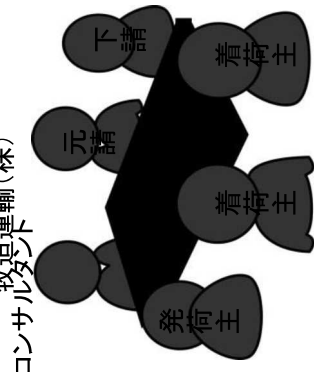
- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

＜参加集団＞

- 発荷主(食肉加工)
鹿児島くみあいチキンフーズ(株)川内工場
- 元請運送事業者
(株)JA物流かごしま
- 下請運送事業者
牧迫運輸(株)



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

- 拘束時間関係
・長距離輸送のため、運転時間が長い。

○荷役作業関係

- ・ばら積みのため、積込に時間がかかる。

○手待ち時間関係

- ・入構時刻に関する認識に問題がある
- ・タイミングによっては出発時の接客待ちがある
- ・届け先の受入れ可能時間までに待機が発生する

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞

○運転時間の見直し

- ・届け先時間指定の見直し
- ・高速道路利用部分の拡大

○荷役作業関係

- ・積込時間を算定し、積込作業の生産性の確認。
- ・荷役時間を発荷主に連絡。発荷主から着荷主へ、所要時間の短縮協力を依頼。
- ・パレット積み、パレット卸により作業時間を短縮。
- ・車面のバース接車の調整。

○手待ち時間の縮減

- ・入構時刻の認識の修正と車両出発時刻の見直し
- ・届け先の時間指定の緩和

実験結果検証

9～10月

→

11月

2月以降

沖縄県パイロット事業【清涼飲料品等の積み卸し作業時間短縮による拘束時間の削減】

- パイロット事業(実証実験)は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

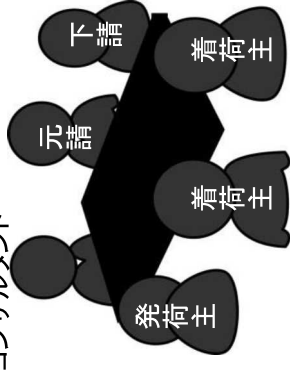
現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。(打合せや事業場の訪問を複数回実施。)

＜参加集団＞

- 発荷主:A
- 元請運送事業者:B
- 下請運送事業者:C
- 着荷主:D

コンサルタント



課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

- 待ち時間関係
 - ・ 宅配による小口納品の一括化による効率化
- 入荷ステーションごとの貨物調整による平準化
- コンテナ積み順の改善による入荷スケジュール改善
- 入荷の計画通りの実施、進捗管理の改善による効率化
- 2シフト制、夜間納品の実施などゲートオープン時間の延長による効率化
- 小ロット納品の待機抑制
- 検品体制の見直し検品体制の見直し

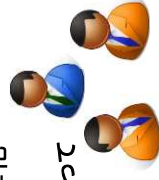
実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

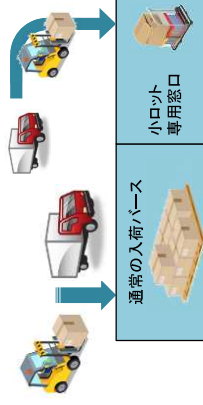
＜実験＞

- 待ち時間の縮減
 - (改善メニューのうち、改善の必要性和実行可能性の観点からテーマを絞り込んだ)
 - ・ 入荷ステーションごとの貨物調整による平準化

リーダーが中心となって現場で調整



- 小ロット納品の待機抑制



実験結果検証

← 6～10月頃 → 10～2月頃 → 3月頃